

# 松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆さまへのメッセージです—

2018年9月3日発行

松蔭中学校・高等学校  
校長 浅井直光

今、それを行なうことをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。

(コリントの信徒への手紙Ⅱ8:11)

## 星に願いを

台風が立て続けに襲来し、中1山のキャンプや海外派遣生の搭乗予定便に影響があるやもと天気予報ばかりが気になる夏休みでした。気象警報のため、補習期間には中止した授業もありましたが幸い海外派遣生は予定通り全員元気に帰国しました。中1キャンプも室内プログラムが中心となったものの、ホテル狩りに星空観察もできたそうです。

今年の夏は、天体観測やプラネタリウム好きの生徒にとって格別に興味深い毎日であったようです。火星が大接近しているとのことで、毎夜、南東の山際にひと際赤く輝いています。宵(よい)の明星(みょうじょう)金星は西の方角の低空に輝き、土星と木星も観察できます。国立天文台のHPを見ると、「火星はおよそ2年2カ月ごとに地球に接近し、観察の好機を迎えます。(中略)2003年には地球と火星が5,576万キロメートルまで接近し、大きな話題になりました。今回はこれには少しおよびませんが、6,000万キロメートルよりも近い距離での接近となるのは、2003年以来15年ぶりとなります」と説明があり、私自身も但馬地方の高原で星空を観察する機会がありました。都会ではなかなか見ることのできない天の川の淡い帯をはさんで、七夕の主人公織姫星(ベガ)と彦星(アルタイル)が輝き、はくちょう座のデネブとともに「夏の大三角」を作っています。目を凝らしていると、その周囲に星が流れるのを何度も見ました。流れ星といえば、ディズニーの歌の一節に“When you wish upon a star. Your dream comes true.”(星に願いをかければ夢はかなう)と歌われるように、流れている数秒間に願い事をするのかなうと言われています。「あ、見えた」「間に合わなかった」とつぶやきながら夜空を見ていると、時が経つことを忘れます。

夏休み直前の1学期終業式の講話では、YouTubeの動画を講堂のスクリーンに映し出しながら、チャレンジしなかった後悔こそが最大の後悔になると、悔いの残らない夏休みを過ごすよう訴えました。そして迎えた2学期始業式。久しぶりに会う生徒の澁刺(はつらつ)とした表情に新学期への意欲を感じながら、売れっ子アイドルやサッカーの本田選手が「自分にも何とかできる自信」を持っていたことを引き合いに、自分に自信を持って目の前の課題に取り組むことを勧めました。

AKB選抜総選挙で1位となったアイドルも本田選手も、人生で一度くらいは流れ星に願いをかけたことがきっとあるでしょう。星に願うほどの夢を持っているということは、日常生活でも努力を怠らない姿勢があったはずです。「願い」と「自信」がキーワードです。行事の多い2学期、松蔭生が、学校生活の様々な場面で一步一步スモールステップを踏みながら歩み、気づきや学びを重ねる体験があるようにと、今しばらくの間は輝き続ける火星に願いをかけたいと思います。

## 夏休みの活動から

連日の高温注意情報で、熱中症対策として職員室前の掲示板に「暑さ指数=WGBT温度」を掲示するようになりました(右写真)。WGBTはWet Bulb Globe Temperature(湿球黒球温度)で、気温だけでなく湿度、日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境も取り入れた、熱中症予防のための指数のことです。校内には、保健室、体育館アリーナ、運動場の3か所にWGBT計測器があり、WGBT温度31℃以上の「危険」(全ての生活活動で熱中症が起こる危険性がある)となった場合、運動部や体育館のクラブ活動を原則として中止することにしました。今週から始まる体育祭の合同練習もこの指数を目安に、実施の可否を決定することになっています。校内には冷却用ミスト噴霧器を設置するなどして対策を立てていますが、来年以降も夏季の高温は続くようです。健康面での細心の注意をしていきたいと考えています。

ともあれ猛暑にも負けず、今年の夏も補習やクラブ活動、体育祭準備の生徒会、図書館や自習室を利用する生徒、Blue Earth Projectの高1、高2のメンバーが多数登校し、学習やそれぞれの活動に頑張っている姿がありました。校外での大会やコンクール、イベントに参加する生徒たちもいました。今年度から教員の働き方改革の一環で、約2週間の「教員夏期休業期間」を設定し、図書館も閉館していますが、生徒活動にマイナスの影響が出ないように心掛けたいと思います。

8月5日より日本聖公会「広島平和礼拝」が行われ、中1を含む11名の松蔭生が参加しました。国や世代を越えた数多くの人々が戦争や原爆に向き合っていることを知り、他の聖公会関係学校の生徒と共に、核廃絶の署名集めや平和行進を行いました。原爆投下時刻の翌6日朝8時15分には、教会での平和礼拝に参加し、犠牲者を悼み、平和の祈りと感謝の気持ちを捧げました。

国際交流では、7月27日、韓国大邱市の聖明女子中学校より生徒18名と校長先生はじめ引率の先生方が来校し、中学3年生17名と交流しました。ペアを組んで校内を案内し、昼食を共にした後交流プログラムを実施しました。8月16日からは逆に中3から高2までの松蔭生20名が韓国大邱を訪問し、中高生と交流しました。ニュージーランド短期留学には5名と少人数の派遣でしたが、姉妹校セント・ピーターズ校生徒との交流やホームステイなど充実した毎日に、派遣生は口々に帰国したくないと話していました。

クラブ活動では、放送部が第65回NHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメント部門で、「神戸ノート」の使用と震災後の復興・風化の関連を示唆した作品「神戸Xノート(こうべかけるのーと)」(制作:高3磯見さん、小山さん、高2辻さん、高1菊原さん)で優秀賞(全国3位)を受賞しました。ラジオドキュメント部門で、作品「1周まわってかわいい」が奨励賞、アナウンス部門には高3中尾さんが出場しました。また、アーチェリー部高1の波部さんが第51回全国高等学校選手権大会(インターハイ)に、少林寺拳法部中3の鍵田さんが第12回全国中学生大会に出場しました。個人活動では、中3の濱田さんが第41回JOCジュニアオリンピックカップ、アーティスティックスイミング競技デュエットに出場しました。紙面で紹介できなかった活動結果については、秋の中高それぞれのアSEMBリーで表彰したいと思います。(裏面に続く)



**中学生対象 内部進学生グローバル特待制度**

英検については、1月の全校生校内受験の取り組みを柱に、生徒の英語力の目安として採用しています。生徒にとっても、上の級の合格を目標にすることが、学習意欲を向上させてきました。中学段階での英検取得については、現時点では最低ラインとして中学卒業までの3級取得、目標としての準2級取得を設定していますが、さらに英検2級以上にチャレンジする生徒が年々増えてきました。

そこで、英検2級にかかる奨学のための松蔭高等学校進学金の減免制度を下記のとおり設けましたので、お知らせいたします。ご息女には、さらなる英語力向上に向け、努力していただくことを期待しております。ご質問等は、高校副校長の芳田先生までお願いします。

## 松蔭高等学校内部進学生グローバル特待制度

内容：松蔭中学校3年卒業までに、英検2級を取得（2次試験まで合格）した生徒は、松蔭高等学校進学金の半額（10万円）を減免します。

対象：2018年度松蔭中学校3年生より適用。松蔭高等学校への内部進学生が対象です。

注意：いったん進学金20万円を納入した後、松蔭高校入学後に減免額を返金します。

現在、校内に英語・グローバル教育推進に向けた検討チームを発足させ、一人ひとりの英語力向上の方策をあらためて検討しているところです。これまでお伝えしているとおり、今年度の中学入試に英語1教科入試を導入したほか、インターナショナルスクールとの提携や英検準1級講座開講など、「英語の松蔭プロジェクト」を多角的に展開しているところです。中高時代に英語力を最大限に伸ばすために、より効果的な英語学習プログラムを構築し、生徒に提供する必要があります。小学校での英語授業の教科化、英語4技能（ライティング、リーディング、リスニング、スピーキング）が大学進学に際して評価されることなどにより、これまでの学校英語教育の形態を根本から見直し、他校にはない、松蔭らしい教育の中身をつくりあげる予定です。具体的なプランが決まりましたら、あらためてお知らせいたします。

**「六甲ミーツ・アート2018」に美術部が『それゆけ！てんしろくくん』で出展**

アーティストたちが展示やワークショップを行う「六甲ミーツ・アート2018」には、六甲山上の各施設、11会場を舞台に総勢37組のアーティストが出展します。美術部は昨年、プロの芸術家に交って出展し、見事「六甲ハイ、チーズ」で大賞を受賞しました。その作品は現在、校内の東館出入口前に展示していますが、今回は「招待作家」としての出展です。「てんしろくくん」の天使の輪を、観覧者と美術部員と一緒に作り上げる参加型パフォーマンスを行います。ぜひ見学にお越しください。期間は、2018年9月8日（土）～11月25日（日）です。

展示・パフォーマンス会場：六甲山上 自然体感展望台六甲枝垂れ（六甲ガーデンテラス内）

料金：イベント鑑賞チケット、または施設入場料（大人300円、小人200円）

美術部員によるパフォーマンスの日時（予定）：いずれも13時～16時

9月9日（日）、17日（月・祝）、30日（日）

10月8日（月・祝）、21日（日）、28日（日）

11月3日（土・祝）、23日（金・祝）